



**オーテピア高知図書館**  
高知県立図書館／高知市民図書館本館  
Kochi Prefectural Library and Kochi Municipal Library

目標（令和3年度）	実績（令和2年4～12月末現在） [前年度同期実績]	参考	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オーテピア来館者数 100万人</li> <li>■ 年間個人貸出点数 110万点</li> <li>■ レファレンス件数 3万件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オーテピア来館者数 523,727人 [842,889人]</li> <li>■ 個人貸出点数 753,979点 [832,122点]</li> <li>■ レファレンス件数 19,610件 [ 30,324件]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電子図書館登録者数の伸び 453人(R2.3.31) ↗ 1,607人(R2.12.31)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開館日1日当たりの個人貸出点数(4～12月) R2:3,714点 [R元:3,650点]</li> </ul>

これまでの取組状況（令和2年12月末実績）

取組の成果・課題等

今後の改善・取組

## 1 地域を支える情報拠点機能の充実

### (1) 資料・情報の提供

- ①資料  
【R2資料購入費】184,073千円（県102,003千円、市82,070千円）  
【資料受入点数】図書36,866冊、新聞155紙、雑誌2,164タイトル ※寄贈含む  
【電子書籍】利用可能タイトル数:5,763 閲覧回数:12,152  
有効登録者数(R2.12.31時点):1,607人
- ②貸出し・予約・リクエスト  
・リクエストを受けた資料は積極的に収集し、入手困難なものは相互貸借を利用した。

### (2) 高知県関係資料の収集・保存・提供

- ③提供  
（県）デジタルギャラリーのサイトのトップページに武市瑞山、濱口雄幸、板垣退助などの資料を配置し、当館の保存資料に興味を持てるようにした。  
（市）公開中の内容のブラッシュアップとして、写真や項目の更新、目録情報の修正を実施した。

### (1) 資料・情報の提供

- ①・コロナの影響で雑誌の休刊増。新規購入を検討する機会が増え、事務処理や排架場所の調整が煩雑となっている。  
・非来館型サービスについては、電子図書館について、地元紙に取り上げてもらうなど周知した結果、登録者は前年度末の約3.5倍に増えた。予約資料郵送貸出しサービスを新型コロナウイルスのステージにより実施。これまで来館時にしかできなかった利用登録を郵送やメールでできるようにした。

### (2) 高知県関係資料の収集・保存・提供

- ③テレビ番組、新聞、出版物への使用・掲載が増えてきており、それらを見た方からの閲覧の問合せもある。職員の分類作業に関する知識の向上や、既存資料のテキストデータ化には時間を要することが課題。

### (1) 資料・情報の提供

- ①・新規購入雑誌の受入れ開始時期を原則半年に1回程度とし、業務の簡素化を図る。  
・引き続き、広報物等を活用し電子図書館をPRする。  
・返却日の到来や予約資料の準備完了をSMSで次年度から実施できるよう9月補正予算で対応した。  
・利用者の利便性向上のため、今後も非来館型サービスの拡充に努めていく。

### (2) 高知県関係資料の収集・保存・提供

- ③分類項目の更新作業と並行して、担当職員向けの勉強会を行う。テキストデータの確認作業については、より効率的な方法を検討。

## 2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援

### (1) レファレンス・サービス

- ②利用ガイド  
・館全体では、ブックリスト91種類、パスファインダー12種類公開。  
【レファレンス受付件数】19,610件（うちビジネス支援:1,356件、健康安全防災:1,053件）
- ③連携  
・レフェラルサービス実績 ビジネス:15件

### (2) 課題解決支援サービス

#### ① ビジネス・農業・産業支援サービス

- ①資料  
・商業・農業分野のデータベースを2種新規導入。導入済みのデータベースについて、追加契約により利用可能な内容を拡充。図書館活用講座でデータベースを紹介。
- ④連携  
・高知県地場産業大賞受賞作品の実物やパネルでの展示紹介を調整。  
・「新型コロナウイルス関連対策グッズ」や「こうちのohana満開プロジェクト」等の展示を実施。

#### ② 健康・安心・防災情報サービス

- ②展示  
・時事や季節に合わせた展示のほか、関係機関と連携し展示を実施。  
12/1～12/27「ちょっと休憩してみませんか？～高知県心の教育センター連携展示～」ほか
- ⑤連携  
・9/5、9/12、9/19、9/26「がん相談会2020」（共催：高知大学医学部附属病院ほか）、10/25「第58回地域医療連携研修会」（共催：高知医療センター）、11/1「転倒を予防するリハビリ体験」（共催：土佐リハビリテーションカレッジ）など

#### ③ 情報リテラシー向上支援サービス

- ①講座等  
・図書館活用に係る講座の開催。【主催】6回（図書館活用ミニ講座等） 【外部】13回

#### ④ 行政支援サービス

- ②資料  
・行政向けメールマガジンや図書館活用講座で団体への長期貸出のPRを実施。

### (1) レファレンス・サービス

- ②・業務やイベントに合わせたブックリストの作成依頼が定期的であり、関係機関との連携が強化されている。  
・レファレンス協同データベースへの事例登録・公開が遅れている。  
③レフェラル・サービスについて、県内の公的な専門機関等は一定把握が進んでおり、相談があった際に紹介することができた。利用者側にはもとより、紹介する関係機関側にもサービスの周知が必要。

### (2) 課題解決支援サービス

#### ① ビジネス・農業・産業支援サービス

- ①データベースの利便性が向上し、新規導入したものは継続的に利用されているが、利用の少ないものがある。  
④・貴重資料データの商用利用申請は少ない。  
・展示を通じて地元企業によるコロナ対策への取組をPRでき、高知県防災関連認定製品への認定や販路拡大につながった。展示が困難な製品や業種の支援方法の検討が必要。

#### ② 健康・安心・防災情報サービス

- ②連携展示では、資料集めを関係機関に依頼することにより、連携先のニーズを把握できた。  
⑤連携事業を通じて、専門的な情報を広く提供することができた。

#### ③ 情報リテラシー向上支援サービス

- ①・館内ツアーとともに再開した図書館活用ミニ講座では、簡潔な内容ではあるが、図書館の便利な利用方法を伝達する機会となっている。  
・感染拡大防止のため、利用者とは近距離で接するデータベース講習会は開催を中止している。

#### ④ 行政支援サービス

- ②・団体貸出を利用する行政機関が増加し、毎月利用する行政機関もある。  
・行政職員のデータベース活用が少ない。  
・ブックリストは要望が多く、作成が追いつかない

### 3 利用者に応じた図書館サービスの充実

**(1) 児童サービス**  
 資料【受入冊数】2,683冊  
 ③利用ガイド「こどもとしゃかんしんぶん」に、本の探し方の記事を掲載  
 ⑤行事【おはなし会(主催)】65回 延べ421人  
 ⑦児童書の選定支援  
 ・購入して3年目の選定支援図書を児童福祉施設に寄贈。研修会等で選定支援コーナーをPR。  
 ⑨情報リテラシー  
 ・図書館紹介動画を作成しYouTubeで公開。

**(2) ティーンズ・サービス**  
 ①資料  
 ・書架の資料の見直しを定期的に継続して実施している。  
 ⑦PR  
 ・SNSを介して気軽に図書館や同世代と関わることがきる「オーテピアティーンズ部」の活動を開始。  
 15名入部。学校訪問の際に、ティーンズ部についても説明し、広報を行った。

**(3) 多文化サービス**  
 ①資料  
 ・日本語学習者向けの資料を収集。電子図書館で外国語の書籍507タイトルを購入。  
 ・リクエストのほか、問い合わせのあった外国語資料も収集。  
 ④普及活動  
 【おはなし会(主催)】6回 延べ154人(こども) YouTubeで動画を公開。  
 【おはなし会(共催)】6回 延べ231名 【館内ツアー】3回

**(4) 図書館利用に障害のある人へのサービス**  
 ①資料  
 ・布絵本を積極的に収集し、8月から常設展示を開始。大活字本、LLブックは引き続き全点購入。  
 ②各サービス  
 【宅配貸出サービス】実利用者9人 利用件数32件 利用冊数116冊  
 【対面音訳サービス】実施回数延べ463回(うち登録ボランティア利用延べ430回) スカイプ導入。  
 ④PR  
 ・点字版・音訳版の利用案内等を盲学校など関係機関へ配布。

### 4 連携・支援及び図書館の活用

**(1) 市町村立図書館等への支援** 県立  
 ①人的支援【巡回訪問】30市町村延べ58回【依頼訪問】2市町村延べ3回  
 ・支援文庫の資料や、図書館が利用できる助成制度等をブログで紹介した。  
 【ブロック別研修会】3会場60名【図書館サービス研修】階層別延べ4回計134名 ほか  
 ②物的支援【購入冊数】6,352冊【物流取扱冊数】88,662冊

**(2) 高知市全域サービスの拠点** 市民  
 ③連携 教科書改訂に合わせ、学校向け団体貸出セットの内容を見直し。  
 ④PR 移動図書館バスの円滑な運行管理により、滞滞のないサービスを実行している

**(3) 県立学校図書館等との連携** 県立  
 ①協力【貸出実績】37件672冊  
 ・4月から県立学校支援担当を配置した。  
 ・コロナの影響のため、年度当初から学校を訪問できず、7月から訪問を開始した。  
 ・R2年度から物流サービスの対象を拡大し、高知市内の県立・私立高校も利用可能とした。

**(4) 中心市街地活性化への寄与、周辺施設との連携**  
 ①中心市街地活性化への寄与  
 ・12/7『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会で関係機関・団体と協議。  
 ②周辺施設(教育・産業支援施設)との連携  
 ・11/15お城下ネット「お城下文化の日」を開催。  
 講演会30名、リサイクル本配布159名、お城下文化手帳持参者へのプレゼント140名

**(1) 児童サービス**  
 ①選書をさらに合理化しスピードアップを図ることができた。  
 ③利用者がこどもコーナーの本を探しやすくなった。  
 ⑤参加者からは好評。特に未就学児向けのおはなし会はリピーターが多い。  
 ⑦巡回展示後の図書の活用方法が定まっていない。  
 ⑨・動画やリニューアルした見学スライドが好評。  
 ・感染症対策のため少人数に分けて見学を実施することで、それぞれのこどもの理解度に応じた案内が可能となり好評。

**(2) ティーンズ・サービス**  
 ①過去2年以内の利用実績が9割を超えており、書架の見直し、面展示を増やしたことによる効果が出ている。  
 ⑦メンバー募集開始時は応募があったがそれ以降は途絶えている。また投稿するメンバーが偏っている。

**(3) 多文化サービス**  
 ①県内在留外国人の母語資料について、十分対応できてない言語がある。また、認知度の低い資料がある。  
 ④行事を通じて関係団体とも積極的に連携することができ、国際交流の機会を提供できた。やさしい日本語の館内ツアーにより、日本語学習者の図書館利用につながった。

**(4) 図書館利用に障害のある人へのサービス**  
 ①・布絵本の常設展示により、貸出点数が増加した。  
 ・大活字本の貸出点数は開館前と比べ大幅に増加しているが、LLブックの認知度は低い。  
 ②スカイプでの音訳サービスの開始が、利用者や利用回数の増加につながった。  
 ④配布後、問い合わせ等反応がなく、サービスが必要な人に情報が届く仕組みづくりが必要。

**(1) 市町村立図書館等への支援**  
 ①・各館の整備状況やコロナ対策等の情報を収集、発信し共有が図れた。  
 ・経験年数に応じた研修の実施により、スキルアップの機会を提供できた。  
 ・新型コロナウイルスの増減により、参加者数が左右される。  
 ②現場ニーズを反映した資料収集により、協力貸出用資料の充実が図れている。

**(2) 高知市全域サービスの拠点**  
 ③団体貸出セットの更新を進めているが、学校現場のニーズの把握が課題。  
 ④多様なツールを用いたPRの検討。

**(3) 県立学校図書館等との連携**  
 ①・学校訪問で学校司書や司書教諭に直接説明を行うことにより、貸出依頼や利用方法について問い合わせが増加した。  
 ・ニーズの高いSDGsのセットを作成。県立学校から多くの借受希望があった。

**(4) 中心市街地活性化への寄与、周辺施設との連携**  
 ①・意見交換会でいただいた意見・アイデアについて、具体化に向けた検討を要する。  
 ・まちゼミ等のイベント中止が続き、商店街関係者と直接情報交換をする機会が減っている。  
 ②より多くの方に連携事業を周知するための情報発信手段の検討。

**(1) 児童サービス**  
 ①ニーズに応じた収集を行う。  
 ③OPACの児童向け使い方マニュアルを作成する。  
 ⑤利用登録や図書館見学などの際に、小学生に積極的に宣伝する。  
 ⑦巡回展示後の図書の活用について検討を行う。  
 ⑨こどものリテラシー向上に資するよう、動画等を効果的に活用した見学案内を行う。

**(2) ティーンズ・サービス**  
 ③引き続き、学校訪問などでティーンズのニーズを把握するとともに、資料を活用してもらえよう、ウェブサイトやSNS、館内掲示などを通じてPRを行う。  
 ⑦すべてのメンバーが積極的に活動できるよう方策や、メンバーの増加を図る方法を考えていく。

**(3) 多文化サービス**  
 ①所蔵のない言語の雑誌や新聞を購入し、PRする。  
 ④やさしい日本語の利用案内の作成など。利用促進につながる取組の充実を図る。

**(4) 図書館利用に障害のある人へのサービス**  
 ①出前図書館で展示や貸出しを行い、周知する。  
 ②各種障害者手帳の新規交付・更新時、県下全域の対象者にバリアフリーサービスチラシを配布し、周知を図る。  
 ④バリアフリーに関するイベント等の機会に、当事者や施設職員等に対してPRする。

**(1) 市町村立図書館等への支援**  
 ①参加者が半減した研修について、申込者限定の動画配信を検討中。  
 ②・教科書改訂に対応した資料の選定を行う。  
 ・市町村立図書館等で収集した方が適当である資料については購入を促す。

**(2) 高知市全域サービスの拠点**  
 ③学校図書館支援員研修会で事前にアンケートを行い現場のニーズを調査する。  
 ④ステーション近隣住民、特にインターネット環境をもたない住民へ届く方法によるPRを強化する。

**(3) 県立学校図書館等との連携**  
 ①・要望の多いテーマに関しては、易しいものから内容を掘り下げたものまで、セットの種類に幅を持たせることを検討する。

**(4) 中心市街地活性化への寄与、周辺施設との連携**  
 ①・関係機関・団体等との協議を進める。  
 ・オンライン形式も活用し情報交換の機会を増やす。  
 ②お城下ネット各館主催のイベントについて、サブイベント(スタンプラリーなど)での連携を検討する。